令和２年度 一般会計決算認定

# さらなる補助金の活用 促進で農業振興を!!

令和2年度一般会計歳入歳出決算認定について、9月7日、8日の2日間、執行側から村長、副村長、教育長、関係課長及び事務局長が出席し、決算審査特別委員会にて審査しました。委員会では活発な質疑が行われ、各議員から出された意見を集約し、3項目を改善要望事項として提出、採決の結果、賛成8・反対1で認定されました。

補助金のさらなる活用を

## 農業用機械等導入補助事業は

**問** 農業振興のために、担い手不足の対策強化や農業用機械等導入補助事業など、補助金を効率的に活用するための考えはありますか。

**答** 産業振興課長 はばたけ「ぐんまの担い手」支援事業で農業機械を購入する補助事業等があります。また、認定農業者になられた後には認定農業者農業経営改善補助金等が利用可能となりますので、活用を促していきます。

## ※認定農業者農業経営改善補助金の利用は

**問** 認定農業者農業経営改善補助金が、令和元年と比べて増額になっています。実績と要因を教えてください。

**答** 産業振興課長 令和元年度4件で、令和2年度11件です。要因は事業の拡大または経営内容を見直して機械の購入、更新等をする農家が多かったためと考えています。

※認定農業者…農業経営の改善、発展に向けて5年後の農業経営の目標とその達成に向けた取り組みを記載した「農業経営改善計画」を作成し、その計画が市町村に認定された農業者。

## ボーリング調査のその後は

**問** 旧榛名カントリークラブ跡地のボーリング調査委託料について、これは村単独事業ですが、この調査結果を基に業務が動いていますか。

**答** 建設課長 この調査結果については、提訴も考えながら行っているので、数値は資料として残しています。また施工業者に分析結果も送り、補修工事の請求をして活用しています。

## しんとう健康ダイヤル24の周知を

**問** コロナ禍の影響もあり、しんとう健康ダイヤル24の利用をわかりやすく周知していく考えはありますか。

**答** 健康保険課長 しんとう健康ダイヤル24は、毎月村の広報に載せていますが、皆さんが利用できるよう、周知を徹底していきます。

## 学校でのタブレット等導入の効果は

**問** これまで学校でタブレット等の整備をしてきましたが、コロナ禍で非常に重要性が増していると思います。現在効果が表れていますか。

**答** 教育委員会事務局長 ほぼ毎日、授業で使われています。また、通常の授業の中でもオンライン会議システムを使っており、一定の効果があると考えています。

## 本会議における討論

**反対** 中島由美子 議員

### ボーリング調査に反対

令和2年度に行われた上野原※の環境調査については、平成28年に大同特殊鋼㈱と鉄鋼スラグの処理に関する基本※協定が締結されており、そのボーリング調査費用は村の税金を投入すべきでないということで反対します。

**賛成** 清水 健一 議員

### 適正に行われている

令和2年度決算等審査意見書において、審査結果に誤りはなく、かつ予算の執行及び関連する事務が適正に行われているものと認められると報告されており、監査委員の意見を十二分に尊重しなければならないと思い賛成します。

※上野原の環境調査…旧榛名カントリークラブ跡地内で表層から10mまでをボーリングし、土壌調査を5カ所行った。2地点で環境基準を超過した。

※基本協定…工事で使用された鉄鋼スラグ製品の処理に関する基本的事項を定め、村及び大同特殊鋼㈱が費用を負担するもの。なお、詳細についてはお互いが協議の上、個別の協定等を別途締結する。基本協定の対象箇所における鉄鋼スラグの処理に係る全ての費用を大同特殊鋼㈱が負担するものではない。

## 改善要望事項

一　コロナ禍において、先の見えない生活やストレスにより、精神面の不調を訴える住民に対して、村の電話相談「しんとう健康ダイヤル 24」をはじめ、国や県が実施している各種相談事業の周知を図ること。

二　農業後継者及び農業の担い手に対し、引き続き、認定農業者制度の周知を図り、機械購入等補助制度の活用促進に努めること。

三　学校情報機器整備事業によって購入した端末機器は、デジタル教科書の利用のほか、コロナ禍による臨時休校や学年閉鎖、学級閉鎖等があった場合において活用できる体制の整備を図ること。